

VI おわりに

「あきる野市の自然を知る、自然を守る」というあきる野市環境基本計画の重点施策を実現するため、市民ボランティアの調査研究組織である、あきる野市自然環境調査部会が調査を進めた。この活動が、多くの市民に支えられ、多くの協力を得ながら進められたことは、多くの市民が身近な自然環境に関心を深める良い機会になったものと思われる。また、市の全面的な支援が、環境行政と市民との協働の調査を成立させ、このような報告書の作成を実現させたものである。

3年間という限定された期間の中で、調査員が勤務や家事との両立を図りながらの調査であり、不十分なところも多々あるが、調査開始当初に予想したよりは、はるかに多くの内容を把握し報告できたことに大変満足している。

この調査の中で市域の地質・地形に関する調査がより進み、市内の生物分布の状況とともに国や都レベルの希少種や多くの絶滅危惧種の存在も確認された。これらの調査結果が今後の自然環境保全に効果的に生かされることを願っている。

なお、この調査において、多くの市民の協力の他に、調査地への立ち入りや情報提供、種の同定などで、下記の方々や団体の協力をいただいた。紙面を借りて感謝申し上げます。

ご協力いただいたの方々、団体（敬称略）

地質班	鈴木毅彦（首都大学東京大学院）
	笠原天生（首都大学東京大学院）
	田村糸子（首都大学東京大学院）
	南里翔平（首都大学東京）
	森将志（株式会社パレオ・ラボ）
	八王子市教育委員会
植物班	奥田重俊（横浜国立大学名誉教授）
	酒井啓
動物班	大村信一
	久保田繁男
	杉村健一
	（故）宮野浩二
	脇山了
	川原で遊ぼう会
	秋川漁業協同組合
	西多摩自然フォーラム
	小峰ビジターセンター
	東京サマーランド
	関西野生生物研究所